

てがたんレポート Vol. 3 No. 7 (2006年7月：通巻28号)

★観察コース：①鳥博スタート→3.5.15号道路沿い→滝下公園→遊歩道→釣り堀前広場（まとめ&解散）、②鳥博スタート→駐車場前の草地→親水広場→遊歩道→釣り堀前広場

★観察日時/天気：2006年7月8日（土）10:00～12:00/晴れ

★参加人数：15人

★観察案内&記録：

- ・ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：小野寺喜四郎、木村稔、小泉伸夫、染谷迪夫、弘実さと子、古川克彌
- ・鳥博職員：時田賢一、斉藤安行

今回のテーマ
・コアジサシを見よう
・ツユクサの花を観察しよう

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

【鳥類】カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、オオバン、コアジサシ、キジバト、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

（外来種や家禽）コブハクチョウ、バリケン

【カエルの仲間】ニホンアマガエル、ウシガエル、トウキョウダルマガエル

【昆虫】

（バッタの仲間）トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ幼虫、オンブバッタ幼虫、ヒシバッタ、キンヒバリ（声）、マダラスズ（声）、シバズ（声）、エンマコオロギ幼虫、ヒメギス、ウスイロササキリ、クサキリ

（チョウの仲間）ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、アゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、キタテハ、ルリタテハ

（トンボの仲間）コシアキトンボ、ノシメトンボ、アジアイトトンボ、ウスバキトンボ、ウチワヤンマ

（ハエやアブの仲間）アオメアブ、ムシヒキアブ

（カブトムシの仲間）マメコガネ、オオヒラタシデムシ（成虫と幼虫）、シロテンハナムグリ、オオスカシバ（幼虫）

（ハチの仲間）ベッコウハバチ、キゴシジガバチ

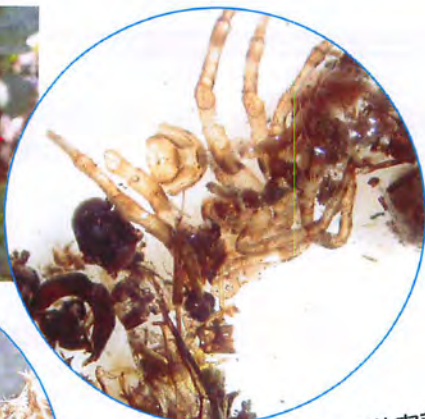
【クモの仲間】

ゴミグモ、ナガコガネグモ（幼体多い）、コガネグモ、オニグモ、コマチグモの仲間（フクログモ科の一種）、アシナガグモ、サツマノミダマシ、ワカバグモ

【花の咲いていた植物】ハナツクバネウツギ（アベリア）、ヤマハギ、キョウチクトウ、クチナシ（以上植栽）、ツユクサ、ネジバナ、シロツメクサ、ギシギシ、ニワゼキショウ、ヤブガラシ、コマツヨイグサ、ハルシャギク、ムラサキカタバミ、ヒルガオ、アレチギシギシ、イヌホオズキ、アマツメクサ、オオアレチノギク、コメツブツメクサ、ヒメジョオン

7月の観察アルバム

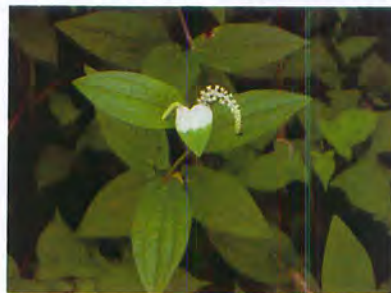
①ゴミグモのごみの中身は？



↑ 餌食となった昆虫の食べかす

↑ ゴミグモ自身の脱皮殻

④ハンゲショウ（半夏生）の群落がありました



②市民農園のトイレ壁面で育つツバメ



⑥見られるトウキョウダルマガエル

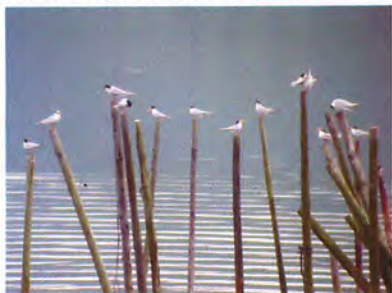


⑤ルリタテハ



*写真は同月湖北集水路前のヨシ原

③杭にとまるコアジサシ



*写真は同月湖北集水路前の水面

⑧中国・東南アジア原産のオオベニタデ



⑦ゴマダラカミキリ

